

エコノミストの見た日本の政治

早稲田大学大学院教授 原田 泰

- *乗数効果も生産力効果も薄れる
- *人に配っても選挙マシンにならない
- *効果が低い「機動的」財政政策
- *選挙マシンにならない金融政策
- *たいへんなリスクを冒した安倍総理
- *難しい成長力強化によるデフレ脱却
- *大いに有効な量的緩和の金融政策
- *通貨安競争、金利上昇も心配ない
- *政治的求心力を何に使うのか
- *日本全体にとっていいTPP参加



浅野 開会いたします。（拍手）おなじみの原田泰さんにおいていただきました。大和総研から、東京財団上席研究員、早稲田大学教授として活躍されておられます。先週の講師も早稲田でしたから慶應はいないのかと言われそうですけれども、早稲田も最近がんばっているというお話させていただきます。

原田さんは経済倶楽部の理事もやってくださっております。もちろん経済倶楽部の会員でもありますから、会員の講師をお迎えするのは喜ばしいことです。いつも定説とは違うようなこともおっしゃっていて、今日も新聞やテレビでわかったような気になっていると、実はそれは大間違いだというようなお話を伺えるはず

原田さんには、経済倶楽部の収支状況が厳しいことは毎回、理事会報告で伝わっているところですが、したがって講演料も多少、安くお願いしています。しかし内容はもちろん割り引いてのお話ということではありますので、楽しみにお聞きしたいと思います。（拍手）

原田 早稲田大学の原田です。早稲田の話ですけれども、同じ大学が続くとか、同じ大学の人が何人もというのはいくつか、同じ大学の3月初めに、早稲田大学教授でベトナム人のトラン・ヴァン・トウ先生に連れられてベトナムに講演に行ったときも、スポンサーから同じ早稲田ではよくないと言われたのです。

しかし「私は早稲田には最近来たばかりだから」ということでトラン先生にスポンサーを説